

## 第7節 藤岡産業振興課

### 〔総括概要〕

藤岡地域の農業は、米麦の二毛作を中心として、大豆、野菜、果樹、畜産を組み合わせ、生産性の高い安定した農業経営を推進してきたが、近年、農業者の高齢化の進行、後継者不足による農家数の減少とともに、食料自給率の低迷、耕作放棄地の拡大、農村の活力の低下など、取巻く環境は非常に厳しい状況が続いている。

このような中、農業振興においては、栃木市農業再生協議会や栃木市農業公社と連携し、土地利用型農業の推進と園芸作物の生産振興、担い手不足や耕作放棄地対策を推進した。

道の駅みかもについては、平成27年度から指定管理者制度を導入し、農産物の高付加価値化と消費拡大による地域農業の所得向上を図り、かつ地域内の女性・高齢者の活躍の場を設けるよう努めた。

農林整備については、市単独土地改良事業等により、土地改良区が行う農業用施設の維持管理事業を支援しそれらの適正管理に努めた。多面的機能事業では4組織が活動に取り組み、地域の環境保全や施設の維持管理に地域住民が一体となって取り組んだ。

また、農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止するために、西前原排水機場の維持管理及び運転を行ったほか、藤岡地域内3か所の排水機場維持管理事業を支援した。

商業関係については、中心市街地の空洞化や商業経営の低迷が大きな問題となっていることから、藤岡町商工会へ育成事業補助金を交付した。

観光関係については、恵まれた自然環境と豊かな観光資源を有効に活用し、各種宣伝事業をはじめ、「第25回藤岡さくらまつり」、「栃木市・渡良瀬ブルーンス2019」などの、まつり・イベントの開催に積極的に取り組んだ。

また、栃木市と群馬県板倉町及び埼玉県加須市との境界にある三県境を2市1町共有の地域資源として利活用し、観光振興に取り組んだ。

### 農林振興係

#### 1 農業経営基盤強化促進事業

栃木市担い手育成総合支援協議会において、認定意向のある農業者に対する認定農業者制度の説明や農業経営の規模、生産方式、経営管理や農業従事の態様等、営農の類型ごとの経営改善に関する個人指導会の開催、担い手に対する施策や研修等の情報提供などを実施した。

・農業経営改善計画認定者数 111人

#### 2 農業団体育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業団体や担い手の

確保、育成及び支援を行った。

(1) 栃木市認定農業者協議会藤岡支部

関係機関・団体との連携と会員相互の親睦を図り、効率的で安定した魅力ある農業経営、自らの経営改善の実践と地域の農業振興のための活動を行った。

4月19日（金）全体会議

2月7日（金）視察研修会

「量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所」

「道の駅グランテラス筑西」

(2) 栃木市農村生活研究グループ協議会藤岡地域

農村女性の社会参画による、輝く農村女性育成及び農業農村の活性化を図るため研修会及び講習会を行った。また、地元農産物を使った加工食品を地域イベントで提供するなど、藤岡地域の農業振興のための活動を行った。

7月12日（金）視察研修会

「カゴメ株式会社 那須工場」

「ベーカリーペニーレイン 那須店」

(3) 栃木市畜産協議会藤岡支部

畜産農家が連携し、家畜伝染病の疾病による損耗を防止し、畜産経営の安定を図るため家畜防疫備品の配付等を行った。

3 ふじおか産業祭事業（令和元年東日本台風による大雨被害のため中止）

地域の農商工が連携し、地域の活性化と振興に寄与することを目的とした「ふじおか産業祭2019」を企画した。

4 藤岡農産加工センター管理運営事業

地産地消、農村の活性化、担い手の育成等を図るとともに、多くの市民が地元の農業に関心を持つよう、主に地元の農産物を使用した味噌づくり等のため加工センターの貸出を行った。

・利用日数 50日

・利用者数 344人

5 わたらせふれあい農園管理運営事業

農園を低料金で貸し出し、自然とふれあいながら農作業を行うことにより、野菜に対する消費者の目を養い農業を知る機会を提供する農園の運営を行った。

・利用者数 17人

・貸出区画 32区画

6 農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。

(単位：件)

件名	件数
耕作証明書	41
農家証明書	11
農家基本台帳の写し	11
合計	63

## 7 道の駅みかも管理運営事業

### (1) 売上等実績

売店名	客数 (人)	売上額 (円)
農産物直売室	272,955	275,409,479
物産館	241,109	184,715,130
農産物加工販売室「ジェラート工房」	36,172	15,850,400
地域食材供給室「レストランみかも」	63,900	57,522,560
合計	614,136	533,497,569

### (2) 主なイベント

イベント名	開催日
七夕飾り	6月24日(月)～7月7日(日)
オールドタイムランみかも2019	10月20日(日)
みかも山ウォーク	11月24日(日)
初売りイベント	1月1日(水)・2日(木)

### (3) 視察の受入：3団体

団体名	視察日	視察目的
部屋小学校 3年生	6月14日(金)	施設見学
藤岡小学校 3年生	6月19日(水)	施設見学
赤麻小学校 3年生	6月27日(木)	施設見学

## 8 農道・水路維持管理事業

工事名	工事箇所	工事内容	工事費(円)
農道維持管理工事	太田	農道法面復旧工 L=40m	160,600
水路維持管理工事	大前	排水路設置工 L=6m	216,000
水路維持管理工事	都賀	排水路土砂撤去工事 L=20m	110,000

## 9 災害復旧工事(市単独)

令和元年東日本台風災害により被災した農業用施設について、市単独費にて復旧を行った。

事業名	箇所数(箇所)	工事費(円)
農業用施設災害復旧工事	4	4,642,000

10 土地改良事業等補助金

各事業に取り組む下記団体を支援するため、補助金を交付した。

事業名 (補助率)	団体名(箇所) 事業内容	事業費(円)	補助額(円) (市負担分)
県単独農業農村整備事業(県35%、市20%)	藤岡土地改良区(巴波川西部地区) ・揚水機工事 1式 さく井 Φ350mm×60m	13,022,900	2,602,000
	藤岡土地改良区(部屋南部地区) ・揚水機工事 1式	5,445,000	1,904,000
市単独土地改良事業(市20%)	藤岡土地改良区(部屋南部地区) ・水中ポンプ交換工事 1式	1,298,000	259,600
	中根西原土地改良区 ・揚水機工事 1式 ・さく井 Φ300mm×90m	3,681,720	736,300
	道花土地改良共同施行 ・用水管修繕工事 1式	418,000	83,600

11 土地改良事業費補助金(災害復旧関係補助)

令和元年東日本台風災害の復旧工事を実施する下記団体を支援するため、補助金を交付した。

事業名	相手方	箇所数 (箇所)	補助額(円) (市負担分)
農業用施設災害復旧事業 (国庫補助)	藤岡土地改良区	35	723,409
農業用施設災害復旧事業 (市単独補助)	藤岡土地改良区	7	2,719,200
	大岩藤土地改良区	1	1,934,570

12 多面的機能支払交付金事業

非農家を含めた地域共同による農地・農業用水等の保全管理と農村環境の保全向上等の取組を支援するために、補助金を支出した。

※市負担額は、基礎支援の合算額の25%

(1) 農地維持支援

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額 (円)
	締結 年度	終了 年度	交付 期間	田(3,000円/10a)		畑(2,000円/10a)		
				面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	

戸崎農地保全組合	H26	H30	5	3,407	1,022,100	262	52,400	268,625
万葉の郷 保全会	H28	R2	5	5,156	1,546,800	92	18,400	391,300
ふじおか環境保全会	H30	R4	5	64,057	19,217,100	1,142	228,400	4,861,375
新波・巴波の郷	H30	R4	5	9,858	2,957,400	307	61,400	754,700

(2) 資源向上支援(共同活動)

活動組織名	協定期間			基礎支援				市負担額 (円)
	締結 年度	終了 年度	交付 期間	田(1,800円/10a)		畑(1,080円/10a)		
				面積(a)	金額(円)	面積(a)	金額(円)	
ふじおか環境保全会	H30	R4	5	16,641	2,995,380	326	35,208	757,647
新波・巴波の郷	H30	R4	5	9,858	1,774,440	307	33,156	451,899

13 環境保全型農業直接支払交付金

環境保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者グループに、当該活動に必要な経費の一部を交付金として交付した。(補助率 国50%、県25%、市25%)

活動組織名	実施地区	対象農家数(戸)	事業内容	交付額(円)
栃木市環境保全型農業研究会(うち藤岡地域分)	藤岡、大前、赤麻、新波	4	有機農業 1,138a	910,400

14 西前原湛水防除事業

栃木市の農地、農業用施設及び住宅の湛水被害を防止し、農業経営の安定を図るため、西前原排水機場の維持管理を行った。

- ・ 運転回数及びポンプ稼働時間 2回(8日間)107時間30分(点検に伴う試運転を除く)
- ・ 事業費(人件費を除く) 8,581,221円

15 藤岡排水機場維持管理補助金

土地改良事業により整備された排水機場について、効率的運営により地域内における生活の安全・安心並びに農業生産の維持及び増進を図るため、維持管理に要する経費の一部を補助金として交付した。

- ・ 対象地区 藤岡土地改良区(部屋南部地区、新井地区、東谷津地区)
- ・ 補助額 1,737,000円

16 排水機場維持管理負担金

農業用施設及び住宅の湛水被害を防ぐため、土地改良事業により整備された排水機場の維持管理に要する経費の一部を、負担金として関係市町等に支出した。

支出先市町等	対象施設	負担金（円）
小山市	与良川水系排水機場	2,677,000
佐野市	界排水機場	301,637
群馬県板倉町	邑楽東部第一排水機場	151,000
渡良瀬川中央地区 水管理施設管理協議会	渡良瀬川中央地区水管理施設	70,000

17 有害鳥獣対策事業

有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害等を防止するため、地元猟友会の協力を得て、有害鳥獣捕獲を実施した。

- ・イノシシの有害鳥獣捕獲駆除

実施区域	捕獲時期	捕獲状況
藤岡地域全域	通年	17頭

18 地籍調査事業

国土調査法に基づき、一筆ごとの土地について所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び面積に関する測量を実施した部屋XVI地区について、県へ認証請求を行う予定であったが、令和元年東日本台風災害復旧事業を優先して行うため、次年度改めて実施することとした。

商工観光係

1 商業振興

- ・商工団体の育成及び助成

藤岡町商工会に対し助成を行った。 (単位：円)

名 称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
藤岡町商工会育成事業補助金	45,627,183	5,500,000	商工会事業助成

2 観光振興宣伝事業

藤岡地域は、四季折々の風景に富んだ広大な渡良瀬遊水地にあるウォータースポーツのメッカとして定着した谷中湖、万葉集に詠まれ自然景観に優れた三轟山を活用したみかも山公園、県内有数のサツマイモの産地など豊かな自然環境と観光資源に恵まれている。

これらの観光資源を生かすために、積極的に観光PRイベントへの参加、観光パンフレット等の配布を行い観光誘客に努めた。

- (1) 第7回渡良瀬遊水地まつり inK A Z O
  - ・実施日 10月6日(日)
  - ・場 所 渡良瀬遊水地下宮橋グラウンド
- (2) 県境エリア観光キャンペーン
  - ・実施予定日 3月14日(土) (新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期)

### 3 観光行事推進事業

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、次の行事を実施した。

- (1) 第25回藤岡さくらまつり
  - ・実施日 4月6日(土)～7日(日)
  - ・場 所 藤岡渡良瀬運動公園
  - ・主 催 (一社) 栃木市観光協会藤岡支部
  - ・後 援 栃木市、藤岡町商工会、下野農業協同組合ほか
  - ・来場者数 17,000人
- (2) 栃木市・渡良瀬バルーンレース2019
  - ・実施日 4月5日(金)～7日(日)
  - ・場 所 藤岡渡良瀬運動公園
  - ・主 催 渡良瀬バルーンレース実行委員会
  - ・共 催 栃木市
  - ・後 援 国土交通省、(財)日本航空協会、栃木県ほか
  - ・来場者数 115,000人
- (3) 第20回よさこい藤岡パレード
  - ・実施日 12月8日(日)
  - ・場 所 足利銀行藤岡支店～藤岡小学校
  - ・主 催 よさこい藤岡運営委員会
  - ・後 援 栃木市、藤岡町商工会、下野農業協同組合、(一社) 栃木市観光協会ほか
  - ・参加者 670人(61団体)

### 4 三県境関連事業

歩いて3歩で回れる全国で唯一の三県境について、観光資源としての利活用を図るため栃木市、群馬県板倉町、埼玉県加須市の2市1町の担当者と、随時会議を開催した。

また、三県の行政区域境界確認書の調印から4周年を迎えるにあたり、加須市の道の駅「かぞわたらせ」において、徒歩による三県境ツアー、2市1町のPR及び各市町の特産品販売を企画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。